

関西広域連合における危険ドラッグ 対策の取組について

関西広域連合広域医療局

関西広域連合の概要

名 称	関西広域連合
設立年月日	平成22年12月1日
構成団体	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市 (連携団体): 奈良県、福井県、三重県
実施事務	広域的な行政課題に関する事務のうち、府県よりも広域の行政体が担うべき事務 ・広域防災、広域観光・文化振興、広域産業振興、 広域医療 、広域環境保全、資格試験・免許等、広域職員研修の7分野の事務 ・国の出先機関からの事務・権限の移譲 ・将来的には、7分野の事務の拡充や新たな分野の事務

これまでの取組について

- 平成24年度
 - 12月 第28回広域連合委員会
 - ・危険ドラッグに関し意見交換
 - 「関西広域連合としての情報共有体制の整備について」
 - 1月 構成府県・政令市の「薬務担当課実務担当者」会議の開催
 - ・危険ドラッグに関する情報共有を具体的に進めることを決定
- 平成25年度
 - 5月 危険ドラッグの検査体制に係るアンケート調査
 - ・検査担当者、分析機器、標準品の保有状況など)



危険ドラッグの検体の情報や検査結果について情報共有を開始
10月 「違法ドラッグ検査担当者勉強会」の開催

「違法ドラッグ検査担当者勉強会」

- 1 年月日 平成25年10月25日
- 2 場 所 大阪府立公衆衛生研究所
- 3 参加者 構成府県及び連携団体の危険ドラッグ検査担当者
- 4 内 容 違法ドラッグの検査の状況等について



○ 平成26年度

8月 「危険ドラッグ担当者研修会」の開催

- 1 年月日 平成26年8月27日
- 2 場 所 大阪府立公衆衛生研究所
- 3 参加者 ・構成府県及び連携団体の危険ドラッグ検査担当者及び行政担当者
・管内の警察関係者
・管内を所管する厚生労働省麻薬取締部関係者
- 4 演 題 「知事指定薬物はどのように指定されているか」
大阪府立公衆衛生研究所 担当者
「生体資料中の危険ドラッグ分析について」
大阪府警科学捜査研究所 担当者
「危険ドラッグ吸引による自動車事故の事例から考える薬理学」
京都大学大学院薬学研究科
生体機能解析学分野 金子 周司 教授

○ 平成26年度

(1) 関西広域連合議会8月定例会 (H26. 8)

- ・4名の議員から「危険ドラッグ」に関する質問

(2) 「危険ドラッグ」撲滅に向けた緊急アピール
(H26. 10)

- ・関西広域連合域内において、「危険ドラッグを許さない」との機運の醸成を図るため、府民・県民に対し「緊急アピール」を発出

○ 平成26年度

(3)「危険ドラッグ対策の充実強化」に関する
「国への緊急提言」を実施(H26. 10)

- ①新たな観点に立った「効果的な規制手法」の確立
- ②「危険ドラッグ非常事態宣言」など社会意識の醸成に向けた強力な啓発
- ③水際対策の強化
- ④危険ドラッグ検査体制の充実
- ⑤違反に対する厳格な処分の実施

(4)「衆議院厚生労働委員会・参考人質疑」
(H26. 10)

- ・関西広域連合の取組みについて紹介したほか、「全国統一規制」に向けて、法整備も含めた対策の充実強化について要請

今後の予定について

●「危険ドラッグ実務担当者会議」及び「危険ドラッグ担当者研修会」の開催について

開催年月日 平成27年11月2日

・実務担当者会議

参加者: 構成府県及び連携団体の行政担当者

議 題: 各県における薬物濫用防止条例の運用状況について

・担当者研修会

参加者: 構成府県及び連携団体の検査担当者及び行政担当者、管内の警察関係者及び厚生労働省麻薬取締部関係者、大阪税関及び神戸税関

演 題: 「税関における危険ドラッグ対策について」

大阪税関 監視部管理課長

「徳島県における危険ドラッグ検査について」

「危険ドラッグによる被害を防ぐために」

国立医薬品食品衛生研究所

生薬第3室長 花尻 瑠璃 氏